

秀巧社グループインフォメーション

IG後藤宏デザインの「平成献上」 福岡産業デザイン賞優秀賞受賞!

〔ダーウィンLLP+博多テックスLLP企画・制作〕



フリッツハンセン社/
オクスフォードの椅子張地



卓越したデザイン性が評価され

西鉄グランドホテル・エンパイアスイートルームに導入

イメージゲート(IG)の後藤宏がテキスタイルデザインを行った

「平成献上」が2009年11月、福岡産業デザイン賞「優秀賞」を受賞した。

平成献上は、博多織の伝統的な意匠である献上柄をインテリア用のデザインとして再構築したもの。その卓越したデザイン性が高い評価を得た。

博多織の伝統柄を
現代の感覚で再構築

福岡産業デザイン賞は、県庁内にある福岡県産業デザイン協議会が主催し、「企業のデザイン力の向上と生活者のデザインマインドの高揚を目的に、県内で生産された製品の中から、市場性を有しオリジナリティが高いデザインの優れた商品表彰・推奨」するもの。年に一度選定されている。福岡県から全国へ向け、デザイン性に優れたヒット商品を生み出すことが目的の一つで、受賞商品はベンチャーマーケットへの展示商談会に出展されるなど、企業のイメージアップや商品の認知度向上にもつながっている。

今回の優秀賞受賞は、福岡を代表するデザイナーや建築家のグループ「ダーウィンLLP(有限責任事業組合)」としてのも

の。後藤はテキスタイルデザインを担当した。ダーウィンの優れたデザインは社会的な評価も高く、2008年から新たに導入された西鉄バスの車体デザイン——5色の輪のストライプ「スマート・ルーブ」——もダーウィンの手になるものだ。さて、後藤らは博多織を象徴する独鈷(どっこ)・華皿、縞の伝統的献上柄を現代に通じるインテリアデザインとするために、モチーフを分解、再構築することで新たな命を吹き込んだ。その卓越したデザイン性が、今回の受賞で証明されたわけだ。

平成献上柄はすでに実用化も始まっており、西鉄グランドホテルの最上級客室「エンパイア・スイートルーム」はこの柄で統一されている。このほかにも、新博多駅、新九電ビルでの導入が内定するなど、福岡ならではの産業デザインとしてその可能性は拡大中だ。

左:博多織「平成献上」柄で統一された、西鉄グランドホテル【エンパイア・スイート】のリビング・ダイニング。右:福岡産業デザイン賞を受賞したクッションとテーブルセンター。
総合プロデュース:宮本一伸/デザインディレクション:かねこしんぞう/インテリアデザイン:今宮優子/コンセプトワーク・ネーミング:原一真/テキスタイルデザイン:後藤宏